

電車どおり



今月の表紙
慈恵院（現在の
函館厚生院）
の創設者3氏

ホームページ
はこちら



仲山興七



上田大法



寺井四郎兵衛

もくじ

1. 函館中央病院は開院93周年を迎えました・・・ 2p

2. 新型コロナウイルス感染症対策・・・ 4p

※今回の電車どおりの背景は見開きでお楽しみ下さい。

- ①表紙と裏表紙の見開き＝かつてあった立体駐車場を含む航空写真
- ②2-3pの見開き＝現在の当院の外観写真（南棟）

当院と同じく1930年設立の企業さんを少しだけご紹介します。

- ・鹿島建設
- ・クボタ
- ・シチズン時計
- ・ユニリーバ
- ・わかさいも本舗

名だたる企業さんばかりで恐縮してしまいましたが、上記企業さんと同様に、当院も開院93周年を迎えることができました☆



基本方針

- 道南の基幹病院として急性期医療に取り組みます。
- 断らない救急医療を実践し、住民の信頼と期待に応えます。
- 総合周産期母子医療センター及び北海道がん診療連携指定病院として高度で専門的な医療を提供します。
- 「患者さまの権利」を尊重し、安心して安全なチーム医療を実践します。
- 医療環境の発展と充実のため、地域の行政・医療機関との連携を強化します。
- ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりと人材育成に力を入れます。

【患者さまの権利】

- ・安全で良質の医療を平等に受ける権利
- ・自らが受けている医療について、十分な説明を受け、知る権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利
- ・自らが受ける医療に参加し自己決定する権利
- ・個人のプライバシーが守られる権利
- ・個人として常にその人格、価値観が尊重される権利

【患者さまの義務】

- ・自らの健康状態を医療者にできるだけ正確に知らせる義務
- ・医療者の説明や自らの疾病状態の理解に務める義務
- ・病院の規則や医療者の指示に従い、医療に参加・協力する義務
- ・他の患者さまの治療や医療者の業務に支障をきたさない義務
- ・受けた診療に対し、医療費を支払う義務

2. 新型コロナウイルス感染症対策について (R5.6.30 時点)

1. 新型コロナウイルス感染症に関するご相談について

新型コロナウイルス感染症に関する一般的なお問い合わせ（受診に関するご相談、本
疾病の症状についてなど）や、感染を疑われる場合は、かかりつけ医にご相談くださ
い。かかりつけ医をお持ち出ない場合は、以下の相談窓口にてご確認ください。

- 市立函館保健所 受診・相談センター
電話番号：0120-568-019（24時間）
- 北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センター
電話番号：0120-501-507（24時間）

2. 入院患者さまとのご面会について

現在、入院患者さまとのご面会を一部制限
しております。病棟でのご面会については、
デイルームでのご面会を原則とさせていただ
いており、一回につき2人まで、15分以内の
ご面会にご協力いただきますよう、お願いいた
します。また、ご面会の際は、マスク着用と
手指消毒をお願いいたします。

ご面会の際は「面会許可証」が必要です。
面会前に1階総合案内にて「面会許可証」の
発行を必ず受けてください。なお、病院から
の呼び出し等でご来院の場合は、正面玄関の総合案内へお申出下さい。

ただし、以下に該当する方は、病院からの呼び出し等でご来院の場合でも面会をお
断りすることがございますので、予めご了承ください。

- ◆発熱、咳、喉の痛み、嘔吐、下痢などの症状のある方
- ◆マスク未着用の方

面会について

【面会時間】
◆月曜日～金曜日 15:00～20:00
◆土曜日・日曜日・祝日 13:00～20:00
※NICU/GCU、ICU、周産期センター、東3病棟については、総合案内又は各病棟スタッフにお声掛け下さい。

◆病棟でのご面会について(デイルームでの面会を原則とします)
・「**面会許可証**」の発行(1階総合案内にて) → **注意事項**
・人数は**2人まで**
・時間は**15分以内**
・面会時は、**マスク着用**と**手指消毒**をお願いいたします

以下に該当する方は、**面会をお断りする場合がございます**。
◆発熱、咳、喉の痛み、嘔吐、下痢などの症状のある方
◆**マスク未着用**の方

病棟で面会される際は、**「面会許可証」が必要**です。
面会前に1階総合案内で**「面会許可証」の発行**を必ず受けてください。

今後、各種感染症の流行状況により、面会を制限する場合がございます。
令和5年5月24日 病院長

3. 入館時の検温実施とマスク着用について

来館されるすべての方に対し、各玄関入口にて自動検温器による検温を行なっており
ます。ご来院の方にはご協力をお願いいたします。なお、検温の結果、37.5℃以上
ある方は個別に対応させていただきます。

また、院内では「ご自身を感染から守るため」「周囲に感染を広めないため」にも
マスク着用いただきますようお願いいたします。

マスク着用のお願い

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



慢性肝臓病
がん
心血管疾患 など



妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗り乗する時

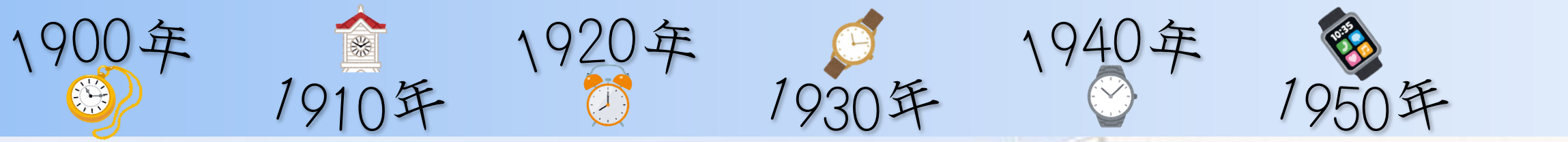
令和5年3月13日より、マスクの
着用は個人の判断が基本となります
が、厚生労働省からの通達により、
ご自身を感染から守るため
また**周囲に感染を広めない**
ためにも、
病院内では「マスク着用」
いただきますよう、ご理解とご協
力をお願いいたします。

病院長

この他の対策も含めた最新の新型コロナウイルス感染症対策は、
当院ホームページをご確認ください。

1. 函館中央病院は開院93周年を迎えました

当院は1930年（昭和5年）に開院し、2023年（令和5年）で開院93周年を迎えました。
本紙面にて簡単に当院の歩みを振り返ってみたいと思います。



○1900年（明治33年）3月6日
「寄る辺なき老幼病者を救助する」ために 仲山興七、上田大法、
寺井四郎兵衛 の3氏が函館慈恵院を創立（函館厚生院の始まり）



仲山興七 上田大法 寺井四郎兵衛



○1934年（昭和9年）3月21日
函館大火により慈恵院、中央病院など焼失
（中央病院入院患者は無事避難）



函館大火の焼け跡

○1937年（昭和12年）7月7日 日中戦争 開戦

○1941年（昭和16年）12月8日 太平洋戦争 開戦

○1945年（昭和20年）8月15日 太平洋戦争 終戦

○1930年（昭和5年）6月1日
実費診療所改築竣工。
名称を中央病院とし診療開始（函館中央病院の始まり）



昭和6年の様子

○1935年（昭和10年）10月1日
慈恵院、中央病院など本町へ移転新築し、診療再開



函館慈恵院附属
中央仮診療所落成



中央仮診療所落成記念
（昭和9年7月20日）



落成した中央病院（昭和11年10月）

開設当時は職員13名、病室5室、病床24床だった当院ですが、現在は職員約1,000名、
段階的に発展した結果であると思います。改めて、感謝申し上げます。今年はNICU・GCU開設
これからも地域の皆様から信頼頂けるような、中央病院だから提供できる医療を実践してまいり

また、今年はNICU・GCU（旧未熟児センター）開設から50年を迎える記念の年です。



○1973年(昭和48年)7月14日
小児病棟内に未熟児センター(現:NICU・GCU)開設
(今年 開設50周年)



未熟児病棟(平成2年)



現在のNICU・GCU

○2003年(平成15年)10月30日
臨床研修指定病院(管理型)に指定

○2008年(平成20年)2月22日
道南唯一となる総合周産期母子医療センターに指定

○2010年(平成22年)2月17日
電子カルテシステム導入

○2014年(平成26年)4月1日
北海道がん診療連携指定病院に指定

○2018年(平成30年)3月
北海道小児地域医療センターに指定

○2019年(令和元年)11月1日
北海道小児がん連携病院(類型3)に指定

○1963年(昭和38年)8月1日
院内保育所開設



現在の院内保育所
(令和3年移転新築)

○1980年～現在
各種大型医療機器の設置・更新



現在のX線CT装置(320列)



現在の血管撮影装置



現在のMRI検査装置



現在のマンモグラフィ装置

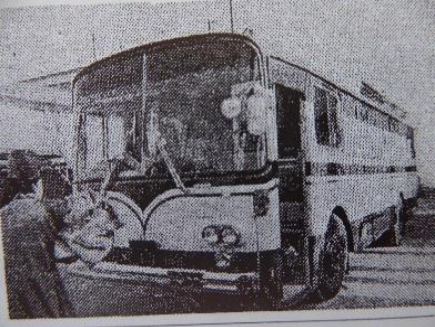


現在のRI検査装置



現在のX線TV装置

○1969年(昭和44年)10月
「胃がん検診車」による巡回住民検診事業を開始



検診車「やまびこ号」



現在の検診バス

○1964年(昭和39年)6月
救急病院に指定



院内の様子



受付の様子

診療科は26科、病床数は527床となりました。これは地域のみなさまからの厚い信頼のもと50周年を迎える記念の年です。また、7年後の2030年には開院100周年を迎えます。ますので、引き続き宜しくお願い致します。